

みんなで考えよう子どもへの虐待

～子どもの未来を地域で支えるために～

2020年3月7日(土曜日) 湯本富士屋ホテル

箱根湯本駅より徒歩3分 TEL:0460-85-6111

第43回日本脳神経外傷学会会場にて

参加費 2,000円(医師・看護師以外)

アクセス

小田原駅から箱根湯本駅までは箱根登山鉄道で約15分。
箱根湯本駅からは、徒歩3分です。



託児所をご用意しています。

ホームページからの事前予約制です。

<http://neurotrauma43.umin.ne.jp>

2020年3月箱根湯本富士屋ホテルで第43回日本脳神経外傷学会が開催されます。脳のけがをあつかう脳神経外科の先生が全国から集まり、治療や研究の成果を話し合う学会と呼ばれる集会です。いま、脳神経外科医が苦勞する頭のけがのひとつが子どもへの虐待です。虐待による頭のけがは、病院に運び込まれたときに重いことが多く、一生懸命治療しても不幸な結果となる場合や、助かったとしても、多くの医師は不安を抱きながら子どもを退院させています。その中には、「子どもを本当に返してよかったか」、「これから子どもを支える人たちと十分コミュニケーションを取ったか」、「繰り返しは防げるのか」などがあります。虐待事例がマスコミを通して報道され、世間から注目を集めるようになったいま、虐待を取り巻く環境は法的にまた行政システムとして整備されつつあります。ここで、子どもへの虐待に詳しい学識経験者、法曹界や報道および行政で働く方々をお迎えし、医療機関で働く者と共に虐待について理解を深める場を持ちたいと考えました。そこで今回学会のテーマを「裾野のひろがり」とし、学会プログラムの一部を学会員以外にもオープンします。この機会に子どもの保育や教育に携わる多くの方々にお集まりいただき、医療機関だけではなく地域で子どもを育てる環境を醸成する機会になれば幸いです。

第43回日本脳神経外傷学会会長

東海大学医学部副学部長

脳神経外科学教授 松前 光紀

お問合せ・学会運営事務局

株式会社ドウ・コンベンション
〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23アクセスお茶の水ビル5階
TEL:03-5289-7717 FAX:03-5289-8117

E-mail:ntrauma43-office@umin.ac.jp

学会事務局

東海大学医学部外科学系脳神経外科学領域
〒259-1193

神奈川県伊勢原市下糟屋143
TEL:0463-93-1121 FAX:0463-91-1295

プログラム

2020年3月7日土曜日 湯本富士屋ホテル 第43回日本脳神経外傷学会
特別企画 「子どもを神経外傷から守る」 ～子どもへの虐待を多職種で考える～

- 11時50分 **特別企画 基調講演**
司会: 東京大学医学部脳神経外科 教授 齊藤 延人 先生
「虐待による神経外傷から子どもを守るチーム作りを」
日本女子大学 名誉教授 鵜養 美昭 先生
- 12時30分 **昼休憩**
今回の学会に共催頂いたメーカーの講演をお聞きいただくことも可能です
一般の方でもお聞きいただける講演については当日ご案内いたします
講演会場でお弁当とお飲み物を配布いたします (配布個数には限りがあります)
- 14時05分 **一般演題 行政および医療関係者からの発表**
司会: 日本脳神経外傷学会 理事長 鈴木 倫保 先生
「2歳未満の頭蓋骨骨折の検討」
高槻病院 小児脳神経外科 原田 敦子 先生
「児童虐待における病院の役割」
東海大学医学部付属病院患者支援センター総合相談室 内田 敦子 様
「頭部外傷における児童相談所の対応と多機関連携」
神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 三柵 優子 様
「ICP-Based Decision Making —AHTに対する手術, 神経集中治療の臨床判断—」
松戸市立総合医療センター 小児脳神経外科 宮川 正 先生
「小児専門病院における頭部外傷の対応 —AHTとnonAHTの間で—」
あいち小児保健医療総合センター 脳神経外科 加藤美穂子 先生
- 14時40分 **特別企画 パネルディスカッション**
司会: 日本女子大学 名誉教授 鵜養 美昭 先生
東海大学医学部医学科 島津有理子 さん
指定演者・討論者
「虐待による頭部外傷(Abusive Head Trauma)の過去・現在・未来」
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 荒木 尚 先生
「頭部外傷による児童虐待への児童相談所の対応」
神奈川県平塚児童相談所 佐久間てる美 様
「児童虐待を未然に防止するための医療機関と市町村の連携について」
茅ヶ崎市役所こども育成相談課 小山 織星 様
「児童虐待への弁護士の関わりと法的判断における医療との連携」
新横浜法律事務所 高橋 温 先生
「記者として、親として」
毎日新聞社くらし医療部 堀井恵里子 様
- 16時15分 終了予定

基調講演 演者、特別企画 指定演者

基調講演 演者・パネルディスカッション司会者



日本女子大学人間社会学部心理学科 名誉教授
鵜養 美昭 先生

1976年東京大学教育学部教育行政学科卒業。目黒区守屋教育会館教育相談員を13年間務め、平成元年より日本女子大学文学部において助教授、学科長、カウンセリングセンター長などを歴任。首都圏の教育委員会、学校、児童相談所が主催する事例検討研修会での講師、神奈川県子ども権審査委員会、日本臨床心理士資格認定協会理事などの活動を行っている。著書多数。

指定演者



埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 准教授・医学博士
荒木 尚 先生

1992年佐賀医科大学(現:佐賀大学)卒業。埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科での研修を経て日本医科大学高度救命救急センター入局。トロント小児病院留学、国立成育医療センター脳神経外科医長などを経て、2017年より現職。日本脳神経外傷学会 小児頭部外傷検討委員長。



神奈川県平塚児童相談所 所長
佐久間 てる美 様

1985年に福祉職として神奈川県に入庁し福祉施設や福祉事務所などに配属され、児童相談所勤務は今年で17年目となる。児童相談所では、児童相談員、児童福祉司。親子支援チーム、スーパーバイザー、所長など役割や立場を変えて、相談支援や児童相談所の運営に携わり現在に至っている。



茅ヶ崎市こども育成部こども育成相談課 主事
小山 織星 様

2017年に保健師として茅ヶ崎市役所に入庁し、こども育成部こども育成相談課に配属。子育て相談・児童虐待担当となり、日々保護者や関係機関の相談の対応をしている。



新横浜法律事務所 弁護士
高橋 温 先生

1993年専修大学法学部卒業。1999年新横浜法律事務所を開業。厚生労働省社会保障審議会 専門委員(児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会所属)、神奈川県弁護士会子どもの権利委員会 委員、公益財団法人全国里親会 第三者委員などの立場で子どもの権利に関する活動を行っている。



毎日新聞社くらし医療部
堀井 恵里子 様

1998年毎日新聞社入社。千葉支局、政治部、北海道報道部、くらし医療部などを経て、2019年から論説委員兼くらし医療部編集委員。くらし医療部アスクの時に、厚生労働省の児童虐待対策を担当した。

特別企画 パネルディスカッション司会者



東海大学医学部医学科 2年在学中
島津 有理子 さん

元NHKアナウンサー。東京大学経済学部卒業後、1997年にNHK入局。「NHKニュース おはよう日本」「NHK海外ネットワーク」「ゆく年くる年」「NHK紅白歌合戦 ラジオ中継司会」「100分de名著」など多数の番組でキャスターを務める。また特派員として、2010年から2012年までニューヨークのNHKアメリカ総局に勤務。2018年にNHKを退職し、現在、東海大学医学部医学科2年在学中。2児の母でもある。